

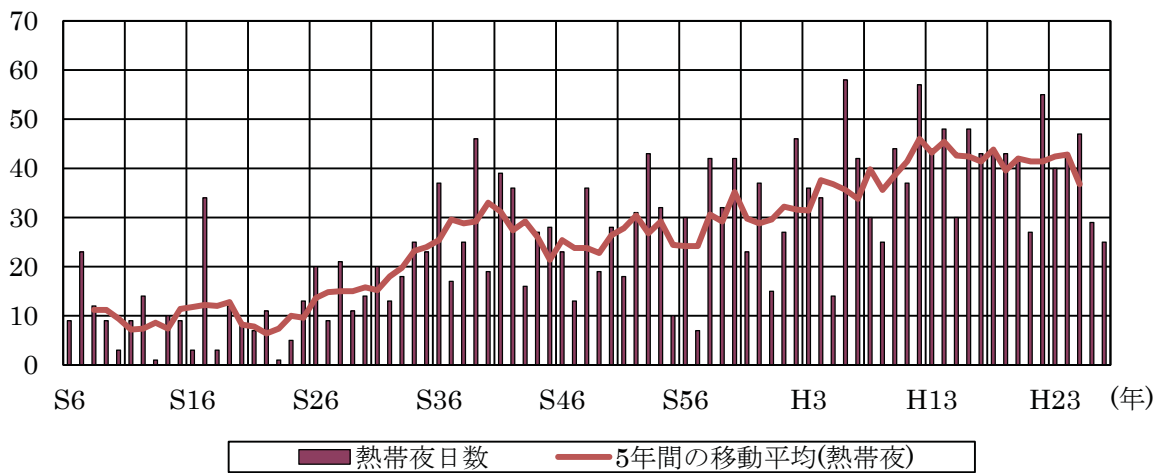
2 ヒートアイランド対策

(1) ヒートアイランド現象の現状

ヒートアイランド現象とは、都市部の気温が郊外に比べて高くなる現象です。道路や建物の蓄熱や放熱、エアコンや自動車からの排熱などにより気温上昇作用が増大することや、樹木や水面から水が蒸発するときの気温低下作用が減少することなどが原因と考えられています。

ヒートアイランド現象による都市の高温化を示す一つとして、日最低気温が 25℃以上となった日数（大阪管区气象台のデータ、熱帯夜にほぼ相当）を見ると増加傾向を示していましたが、平成 17 年以降は、概ね横ばいとなっています。

(日数) 大阪管区气象台における熱帯夜日数(6月～9月)の経年変化(S6～H27)

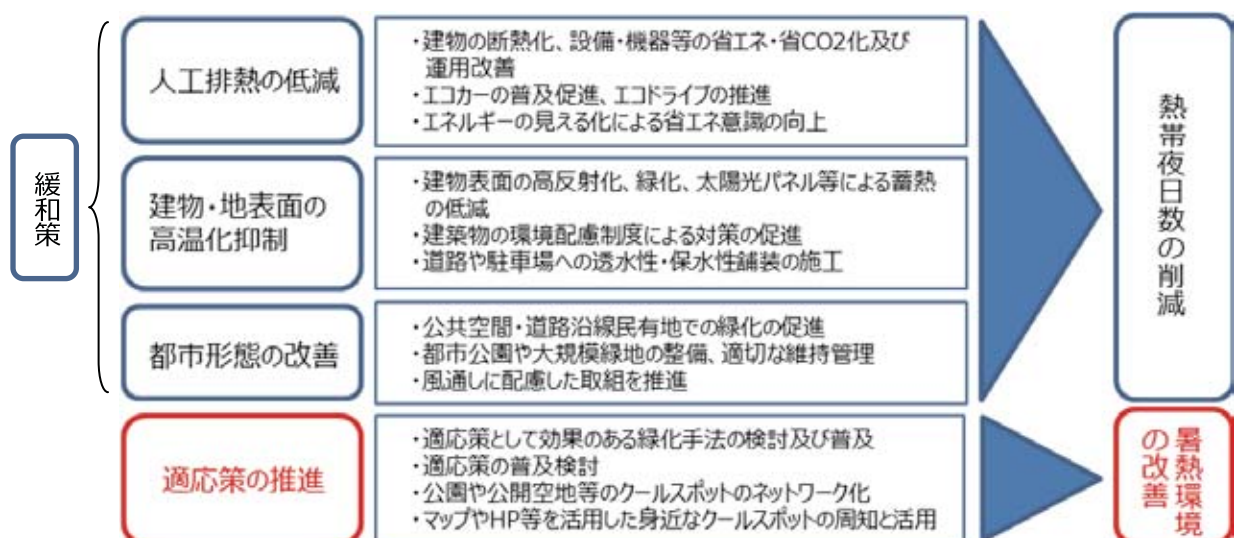


※ 5年間の移動平均：その年および前後2か年を含めた5か年の平均値

(2) 主な取組み

ヒートアイランド対策については、平成 27 年 3 月に大阪府とともにヒートアイランド対策の基本的な考え方や目標、取組内容を定めた「おおさかヒートアイランド対策推進計画」を策定しました。本計画に基づき、人工排熱の低減や建物・地

表面の高温化抑制等の取組である「緩和策」の着実な推進に加えて、熱中症などの人の健康への影響等を軽減する取組である「適応策」の推進を対策の基本的な考えとし、次の取組みを中心とした施策を進めていきます。



① 公共施設での緑のカーテン・カーペットづくり

区役所、学校などの公共施設において、ゴーヤやサツマイモなどを使ったヒートアイランド対策に取り組んでいます。

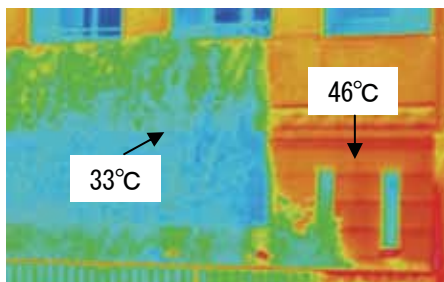
緑のカーテン・カーペットは、日差しによる建物の高温化を抑え、建物からの夜間の放熱を抑制する効果が期待できます。

また、室温の上昇を抑えることで、エアコンの使用時間を短くできるなど省エネルギー効果が期待でき、電気料金を節約することもできます。

建物の緑のカーテンで覆われている部分とそれ以外のところの表面温度を比較し効果を見える化することで、環境意識の向上を図ることができます。平成27年度も各区役所、学校など395施設で実施し、緑のカーテン・カーペットの普及拡大を図っています。



緑のカーテン



緑のカーテンの熱画像

② 「大阪打ち水大作戦」の実施

ヒートアイランド対策についての普及啓発事業の一環として、市内各所で市民、事業者との協働により、「大阪打ち水大作戦」を実施しています。

平成27年度 市民等との協働による実施 32か所



「大阪打ち水大作戦 2015」の様子

③ 「風の道*」における施策の推進

ヒートアイランド現象の緩和には、大阪湾から吹く涼しい海風を都心部へ誘導することが効果的です。また、ヒートアイランド対策の一つに「風」の活用を位置づけ、長期的な視点で、大阪湾からの涼しい海風を活用したまちづくりの指針である『風の道』ビジョン〔基本方針〕に基づき官民一体となった「風の道」における施策を推進しています。

④ 適応策の推進

ヒートアイランド現象による都市の気温上昇が熱中症といった健康被害を及ぼしており、それらの影響を抑制する対策が「適応策」と呼ばれています。主に人をターゲットとした夏の昼間の暑熱環境（人の身体に影響を与える暑さ環境）を改善する対策を推進しております。



交通局 Top Commitment

地下鉄・バスは「環境にやさしい」交通機関ですが、運行時に多くのエネルギーを使用するため、この事業自体によって生じる環境負荷を最大限に軽減する取組みを継続・拡大する必要があります。

地下鉄事業では、省エネルギーの取組みとして、消費電力の少ない設備や車両機器、新技術を用いた新型車両を導入しています。また回生電力の有効利用を図るため、変電所へ大容量蓄電池の設置を進めています。

バス事業では、車両の更新に合わせて、ハイブリッドノンステップバスなどの低公害車や最新の排出ガス規制適合車の導入に努めています。

これからも、より安全・便利・快適な輸送サービスをお客さまに提供するとともに、地球環境に配慮した施策を積極的に進めます。



交通局キャラクター
「にゃんぱろう」

水道局 Top Commitment

お客さまにお届けしている水道水は、自然環境と密接な関わりがあることから、水道局では、環境保全や環境負荷低減につながる取組みを推進し、環境に配慮した事業運営を行っております。

これまでに、水道施設に関する種々の省エネルギー対策の実施や、太陽光発電、小水力発電の導入、さらには浄水場発生土の有効活用を始めとする廃棄物の減量化に取り組むなど、さまざまな分野での環境施策を進めてまいりました。

また職場改善運動（かいぜん Water）提案制度を通じて、業務改善はもとより環境保全・環境負荷低減の取組みを含む、数多くの改善の取組みを各職場で実践しております。

今後も、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの利用向上、リサイクルの推進といった環境負荷低減の取組みや、琵琶湖・淀川での水質調査といった水源水質の保全に関する取組みを推進するとともに、水道の有する施設や技術を活用した地球環境への貢献策を実施することにより、環境にやさしい水道システムを構築し、大阪市の一員として「環境先進都市大阪」の実現をめざしてまいります。



水道局キャラクター
「びゅあら」